

Feeling excited

“Dance with Heart”  
We are burning with enthusiasm  
in creating national art for the new era.  
The Kikunokai Dance Troupe  
Representative : Satoshi Hata

# 日本のおどり

発行：舞踊集団 菊の会  
〒161-0031  
東京都新宿区西落合 2-21-23  
03-5983-6001 (代表)  
菊の会 京都八瀬研修所  
〒601-1254  
京都市左京区八瀬野瀬町 10  
075-712-8701 (代表)  
<http://www.kikunokai.co.jp>

Dancing from the heart

謹んで  
新春のお慶びを  
申し上げます。

旧年中は格別のご厚情に  
預かり心より厚く御礼申し  
上げます。

本年も菊の会は創立者畑  
道代の理念である“舞踊を  
通して日本の心を伝えゆく”  
活動として、国内各地での  
公演はもとより、海外公演、  
また菊の会のライフワーク  
とも考えております学校公  
演を活動の柱に、踊りを通  
じて潤いのある生活と心身  
共に健康を目指した、舞踊  
教室の普及に更に力を注  
ぎ、菊の会一同心を合わせ  
更なる飛躍の一年にして参  
りたいと存じます。

舞踊集団 菊の会  
代表 畑 聡



心からの  
おどりに感動



東京富士大学  
人文学部  
法政学  
校理事  
副学長  
・学長  
二上 映子

「菊の会」の皆様 初春を寿ほぎ  
お祝い申し上げます。

昨年十一月十三日「日中友好・  
文化交流の集い」が公演されるに  
至った経緯を紹介したいと思ひます。

一年間の「菊の会」公演のご計  
画が、日本各都道府県のみならず  
国際的に活躍のところが急に話が  
飛込んで来て畑聡代表は途惑いを  
感じられたことと思ひます。しかし  
即答され現在の中国と日本の状況  
から「今」と判断されたと思ひます。  
その勢いたるや急速に多方面への  
交渉が行われ、三ヶ月程度の月日  
で日本のおどり「菊の会」と・中国  
の歌謡・演奏会が纏まりました。

西村孝雄様が実行委員長をお受  
けになり行動の速さに驚き、なお  
樹徳会小林惣太郎先生や役員の方  
々が中国大使館・新宿区区长に  
会いに行かれ、三隅治雄先生、  
満蒙開拓平和記念館館長・日中友  
好協会等多くの方々のご支援を  
受け公演の運びとなりました。

会場は東京富士大学二上講堂を  
使用していただくことになり、  
昭和四十五年日中ピンポン外交の  
先駆けの本学でありましたので、  
喜んでお引き受けいたしました。

本学の中国留学生に他国での  
思い出になると思ひ參觀すること  
を教員にお願いして授業中でした  
が許可を得ました。

日本のおどり「菊の会」はずば  
らしい一言です。日本の文化・  
風土を取り入れた芸術作品です。  
江戸時代中期の常磐津文字太夫  
浄瑠璃節、江戸後期の清元延寿太  
夫の清元節等や、長唄・狂言舞踊  
も含め、創立者畑道代(尾上菊  
乃里)前代表の振付で日本の美を  
表現され、その上畑聡代表の理  
念・心の訴えに感動しました。

舞踊芸術に対する関心は舞踊を  
身に付けた人、見るのだけが好き  
な人、老若男女でも違います。  
あまり長いと飽きる人、様々です。  
又、民謡は日本舞踊とは異なる  
とか議論がありました。そのよう  
なことがごく自然に解消された  
舞踊団「菊の会」です。民謡は身  
近な存在で自然に踊りが生まれて  
親しみやすく、歌謡曲にも振付け  
のできる曲が沢山あります。常日  
頃思つて居りましたが目の前で  
実演されました。踊る方の気持ち  
で言葉がなくても人々にひしひし  
と理解できる表現力「心」の舞で  
す。情景や心情が目に見える形で  
ました。ときの経つのも忘れて見  
とれていました。

四十一年の伝統を守り、今日の  
ように研究された日本のおどり  
「菊の会」の皆様のおどりを広く世  
界に発信し、日本の国の良さを自  
然体で伝えていただきたく願わ  
ずにはいられません。  
今年も「菊の会」の皆様のご健  
勝とご活躍を心よりお祈り申し上  
げます。

# 成長したもの 公演を見て感じたこと



舞踊集団菊の会の創立者・畑道代は、日本の美、日本の心を舞台を通して三つ芸能を基に創造した。一つは、初代尾上菊之丞から教えられた「歌舞伎舞踊と素踊り」二つ目は、菊之丞亡き後、地域に根ざした「民俗芸能・民謡の心」三つ目は、今でも日本人の底流に流れる歌心を踊ることであった。



舞踊評論家  
**平野 英俊**



ことでは充分だが、「所作立」という部分は、若い者・中村輝幸、中村英俊、吉岡諒真、池原和樹と一体になった立廻りがある。そのポイントで菊十郎の指導が利いている。次の狂言舞踊・常磐津「釣女」では鶴岡の太郎冠者、この役を充分呑み込んでいて格段の巧みがあり立派、大名・武井則男、上臈・青木有子、



## 躍れ日本の心

、今年創立42周年を迎える菊の会のベテランから新進までやかでダイナミックな舞台を是非、ご覧下さいませ。

開演 全労済ホール・スペースゼロ(新宿区)  
[お申し込み]舞踊集団 菊の会事務局 TEL03-5983-6001



鹿児島県長島町の美しい夕日

## 伝統と革新と



鹿児島県長島町教育長  
**中橋 藤七**

本町では、昨年文化ホールをリニューアルし、記念公演を開催することになった。その公演をだれに依頼しようかと検討する中で「菊の会」が浮かんできた。「菊の会」は「次代を担う芸術体験事業」で学校巡回公演を実施しておられる。平成二十四年には南種子町(種子島)で公演を実施された。この公演を見た南種子町長が「涙



が出るほど感動した」と本町の町長に話されたそうである。そこで、本町でも「菊の会」に公演をお願いすることになったものである。本町での公演は、十月六日行われた。第一部が「お祝いの舞と狂言舞踊」第二部が「日本の心を踊る」という構成であった。「菊の会」の舞踊はこれまでの「日本舞踊」のイメージを全く覆す斬新なものであった。太鼓の演奏、江戸太神楽、長唄、狂言と日本の伝統的な芸能を舞踊化したものあり、身近な民謡をおどりにしたものであり、踊りというものがこれほど美しくまた楽しいものであったかと改めて思わせるものであった。最後の阿波踊りでは、一緒に踊り出す観客もいて、舞台と観客とが一体となった誠に感動的な公演であった。これも、創立者の畑道代さんの「だからからも親しまれ理解される舞踊の創造をめざす」という素晴らしい理念

が脈々と継承され、厳しい稽古を通して実力の向上に励んでおられるからであろうと思う。伝統を継承するだけでなく、常に新しさを求める「菊の会」への支援が益々広がっていくことを期待している。本町でももう一度見たいという声も広がっている。



## 茶房 舞む Sabou Mamu

〒161-0031  
東京都新宿区西落合 2-21-23

営業時間 10:00~18:00  
(ラストオーダー 17:30)  
ランチタイム 11:30~15:00

定休日:日曜・祝日

こちらにアクセス☆

<http://r.gnavi.co.jp/7zsuh6kx0000/>



## 澁刺としたなかに、 若さあふれる踊りの絵姿

京都新聞COM  
取締役営業担当／営業統括本部長  
宮脇 一徳



比叡山を望む菊の会八瀬研修所

初めて、舞踊集団「菊の会」の公演を鑑賞させて頂いたのが、平成25年の寒い春四月でした。私にとって日本舞踊といえば、都をどりや、鴨川をどりのような、芸舞妓の皆さんの日常修練の発表会のような場しかイメージできなかったのですが、お誘いを受けたときは「えっ。私が日本舞踊に」といった疑問符がつきそうな、心のつぶやきがありました。歌舞練場や祇園甲部での公演は私にとって日本舞踊とは、華やかで美しい春の舞台を背景に、緩やかな動きの大勢の踊りと、豪華な衣装のおどりが混在し、ただきれいなだけでした。

また、棧敷には笛、太鼓のお囃子を受け持つお姐さんたちがずらり、その表情はなにか義務的

ななお囃子を奏でている光景しかイメージさせてくれませんでした。

そんな私が舞踊集団菊の会に出会い、その公演を鑑賞させて頂いた機会となったのは、大きなご縁のお陰と言わざるを得ないような気がします。まさに邂逅でした。日本舞踊「日本の踊り」の早いテンポとリズム、先まですっかり伸ばされた指の美しさ、厳しい凛々しさや、上品な色気と躍動美、踊り手の笑顔や真剣な表情はとても美しく、曲が進むにつれ舞台に引き込まれ、その虜となり、ファンになっていったような気がします。

洛北北山の麓、八瀬高野川の畔、菊の会八瀬研修所は、日本建築の粋がほどこされ、高貴で伝統と高い技術に裏打ちされた先代畑道代さんの踊りに託した情熱と厳しい美意識や魂の発表のステージにふさわしく、閑静で、落ち着いた空気が漂っていました。ここ八瀬研修所は日本舞踊の修練の場として日本舞踊の真髄を求めるにふさわしい環境のなかで振りや所作が作り上げられ、舞台で表現されています。先代代表が渾身を

込められて完成させられた、この研修所は日本舞踊の歴史とその伝統を体現し、後世に伝える最高の舞台となっています。その最高の舞台で行われる次の新しい春の公演を待ち遠しく思うのは私一人ではないでしょう。



## 創立者・畑道代の創造か 「錦秋に舞う」

育てた芸で集団を作り東京そして京都を拠点に全国巡演・海外にも飛んだ。

この活動で育った代表畑聡、鶴岡泰重、宮沢りか等が今回の公演「日本のおどり・錦秋に舞う」(タワーホール船堀で所見)では主演者である。

第一部の清元「神田祭」は「立師尾上菊十郎」とある。

日本舞踊家が歌舞伎を上演する場合は歌舞伎の専門家に指導を仰ぐことを常に創造の原点に置いた。

主役の鷹頭・畑聡、芸者・宮沢りかは踊る



第二部「錦秋に舞う」(畑道代、畑聡振付)は九曲の民謡・歌謡の踊り。驚いたのは「維新の人」で、「坂本竜馬、吉田松陰、西郷隆盛」を青田義則・中村英俊、畑聡、鶴岡泰重、枝木茂が、それぞれの曲を踊るのだが、五人の紋付・袴姿の素踊りには、その人となりが見えていて美しさが、あり、男性陣の成長の証しが見えたことだった。

畑道代の一つの達成度を示していた。これからは畑道代の創造の基点三点に加えて、新しい若い男女を活かす四点目、五点目の基点づくりの創造を新生「菊の会」に期待するものは大きい。

## 京都 木屋町 旅館 畑

旅館 畑は三条鴨川に面し、初夏は床が開かれ、  
四季折々の京都の情緒がお楽しみ頂けます。

〒604-8001 京都市中京区木屋町通り三条上ル  
TEL 075(231)5200 / FAX 075(231)0333

## 舞踊集団 菊の会 公演 日本のおどり

2014年早春、菊の会がエネルギッシュな舞台を展開  
これまで世界53カ国95都市で海外公演を行い好評を博  
若手メンバー総出演により、日本の伝統が現代に息づく

2014年2月19日(水) 午後2:30 / 午後6:00  
指定席 6,000円 / 自由席 一般 5,000円 学生 2,000円



「手紙」



箏演奏家  
菊池 伸城

菊の会創立者畑道代先生から生前頂戴したお手紙の中に『伝統を紡ぐ芸の道は険しく長い道のりであり、同時にとても尊く美しいもの』このように一節がありました。

畑先生は、当時まだ右も左も分らない私をなぜ気にかけて下さったのか。それは私が生まれる数十年前、私の母が畑先生に日本舞踊を御指導頂いていた事に関係しているのかも知れません。

踊りを辞め、畑先生のもとを離れる決断をした後、畑先生はなんら変わらぬ優しさで包んでくださったと母から伺いました。深い深い愛情をお持ちであった畑先生だからこそ、母への想いを私に重ね、よちよち歩きの私に道を示し、光を照らして下さったのではないかと思います。

現代代表の畑聡先生が振り付けをされた『春疾風』の楽曲には、光栄にも私が作曲をした『獅子の真心』を使つて頂いており、去る11月30日に行われた菊の会の平成25年千秋楽の舞台で、箏を演奏させて頂く機会を頂戴致しました。

この楽曲には、先頭に立つて道を切り拓く師匠の姿、それに続く弟子の姿を描き、如何なる困難の中にあつても命懸けで仲間を守り、荒れ狂う嵐の中をも颯爽と駆け行く獅子の姿を重ねております。そんな楽曲に込めた想いを全て汲み取って頂いたかのように振り付けられた舞には、先代の畑道代先生が残した想いと、畑聡先生の継承された熱き信念が確かに生き生きと、力強く輝いておりました。それはまるで、春の風に舞う獅子の如く。花道から観る雄姿に心を震わせたのは言うまでもありません。

そして手紙は『伝統を伝えゆくこの道を、共に歩める幸せを感じながら、ようこそこの世界へ』と、愛に満ちた言葉で締めくくられておりました。



客席から舞台稽古を見守る在りし日の畑道代前代表

菊の会バスツアー公演を開催!!



文化や伝統の魅力を紹介している「ほけかる倶楽部」との協力により、昨年11月東京菊の会スタジアムにてバスツアー公演を初開催致しました。十八番の舞台を鑑賞した後、体験コーナーでは阿波踊りを踊り、大盛況で幕を閉じました。

ご結婚おめでとうございます。

公演メンバーの飯田栄志さんと葛西輝子さんの結婚式が昨年12月22日に京王プラザホテルに於いて行なわれました。大勢の方々にお祝いを頂戴し、晴れやかな門出となりました。



2014年菊の会公演予定

INFORMATION

菊の会公演 日本のおどり

● 躍れ日本の心

2月19日(水) 午後2:30/午後6:30  
全労済ホール/スペースゼロ【新宿区】  
指定席 6,000円/自由席一般 5,000円/学生 2,000円

菊の会公演

● 日本のおどり

3月26日(水) 午後2:30/午後6:30  
サンシティ越谷(小ホール)【埼玉県越谷市】  
指定席 6,000円/自由席一般 5,000円/学生 2,000円

菊の会 京都アトリエ公演

● 日本のおどり

4月5日(土)・6日(日) 各日 午前11:00/午後3:00  
菊の会八瀬研修所【京都市左京区】  
全席自由席 4,500円

● 友の会懇親パーティー

4月19日(土) 正午  
ハイアットリージェンシー東京【新宿区】

◆ 舞踊教室の御案内

東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城、京都

私達と一緒に踊ってみませんか?  
正しい姿勢、行儀作法も自然に身に付く  
楽しい菊の会舞踊教室です。

※詳しくは菊の会事務局までお問い合わせ下さい。  
TEL 03-5983-6001/FAX 03-5983-6002

◆ 友の会へのお誘い

「友の会」は菊の会をサポートする後援会です。

友の会特典

- ・会報「日本のおどり」の御送付
- ・菊の会公演共通鑑賞券1枚贈呈  
(一年間有効。一回限り)
- ・茶房「舞む」のコーヒーサービス券の贈呈
- ・記念品の贈呈

一般会員：一口1万円(何口でも可)  
法人会員：一口5万円(何口でも可)